

【概要版】彦根市立幼稚園・保育所・こども園施設整備計画

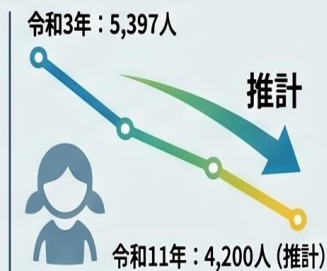
公立施設の現状と直面する課題



施設の約8割が
築30年超

施設の多くが老朽化、今後10年で
多額の更新・改修費用が必要

就学前児童数の継続的な減少



令和11年には4,200人まで減少すると
推計されている。

ニーズのミスマッチ

1号認定希望者は減少傾向だが、
保育ニーズは高まっている

令和11年度(推計)

1号認定ニーズ : 546人

2・3号認定ニーズ : 2,359人

就学前児童数(全体) : 4,200人

1号認定希
望者減少

定員を大幅
に下回る

これからの整備に 向けた具体的方針

認定こども園への移行と統廃合



幼稚園 公立 民間事業者



認定こども園

幼稚園と保育園を統合し、就業状況を問わず利用できる「こども園」化へ

「民設民営」方式の最大限の活用



公立 民間事業者



厳しい財政状況を鑑み、民間事業者のノウハウを生かした効率的な整備を推進

長寿命化による「安全・安心」の確保



老朽化した施設を計画的に修繕・長寿命化し、安心して過ごせる環境を維持

公立幼稚園・保育所・こども園の施設の概要

施設名	定員	建築年	経過年数	構造	増築年等	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	耐震化整備
彦根幼稚園	45人	平成2年	35年	RC造2階建	-	2,614	1,200	不要
高宮幼稚園	45人	昭和60年	40年	鉄骨造平屋建	平成19年	2,507	738	不要
稲枝東幼稚園	30人	昭和52年	48年	鉄骨造平屋建	平成29年	1,311	384	済
旭森幼稚園	75人	昭和53年	47年	鉄骨造平屋建	昭和56年	5,546	688	済
城北幼稚園	30人	昭和54年	46年	鉄骨造平屋建	昭和55年	2,780	590	済
佐和山幼稚園	55人	昭和63年	37年	鉄骨造平屋建	-	3,164	688	不要
城陽幼稚園	60人	平成4年	33年	鉄骨造平屋建	-	4,501	724	不要
西保育園	110人	昭和60年	40年	鉄骨造平屋建	平成30年	2,102	747	不要
東保育園	120人	平成4年	33年	RC造2階建	平成25年	2,015	889	不要
ふたば保育園	140人	平成15年	22年	鉄骨造平屋建	-	3,125	1,072	不要
平田こども園	(1号) 110人	平成29年	8年	木造2階建	-	6,215	1,844	不要
	(2・3号) 90人							

※ 経過年数は、令和7年4月1日現在

※ 面積は、幼稚園・こども園は公立小学校台帳、保育所は公有財産建物台帳に基づきます。

※ 令和7年度末までに撤去したプレハブ園舎（リース）分は除いています。
（稲枝東幼稚園 157㎡、旭森幼稚園 184㎡）

施設ごとの年次計画

施設名 (経過年数)	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度	令和 13年度	令和 14年度	令和 15年度	令和 16年度	令和 17年度 以降
彦根幼稚園 (35年)										整備を 再検討
高宮幼稚園 (40年)	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③
稲枝東幼稚園 (48年)	③	→	閉園							
旭森幼稚園 (47年)	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②
城北幼稚園 (46年)	①	→	閉園							
佐和山幼稚園 (37年)										整備を 再検討
城陽幼稚園 (33年)	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②
西保育園 (38年)	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③
東保育園 (33年)										整備を 再検討
ふたば保育園 (22年)										
平田こども園 (8年)										

※ 経過年数は、令和7年4月1日現在

※ 矢印の範囲は、施設整備用地、運営事業者の決定、検討や設計、建設工事、閉園までの期間を表しています。

※ 上記の表は現時点での状況から計画したものであり、今後の施設を取り巻く環境が変わる場合、適宜計画を修正します。

(施設整備の形態)

実線：下記の方向性で検討を進める。

破線：園児数が減少する場合には、下記の方向性で検討を進める。

- ① 民設民営の認定こども園に移行する。
- ② 民営の保育所と統合を検討し、民設民営の認定こども園に移行する。
- ③ 閉園する。